進学通信

ステップゼミナールだより

ホップ・ステップ

September 9

第215号
2024年9月1日発行

漢検に合格した石川さん（5）

菅原さん（6）

二瓶君（6）

渡邉君（中2）

山本君（中2）

菅原君（中2）

荒関君（中2）

佐貫さん（中3）

野崎君（中3）

鵜澤君（中3）

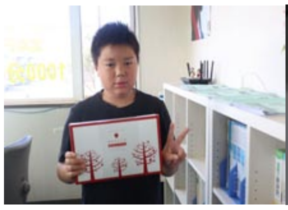
釜本君（中3）

8/11,12 学力コンクール

道コン見直し

3年生道コンの解説

8/21 夏期講座最終日の中3生の計算特講


富原小学校6年生の二瓶結斗君がお盆休みに札幌に行ってお土産を買って来てくれました。

29期生の成瀬 和さんと福原せりかさんの珍しいコンビが顔を出してくれました。差し入れも！

27期生で高専から豊橋技科大に進んだ村上渚君、来年の1, 2月インターンシップでオーストラリアの大学に行きます！

18期生で國學院大卒業後、東京で就職しましたが戻ってきました。大地みらいの厚岸支店に勤務です！

18期生で慶應卒で三菱重工に勤務する新田智徳君、80歳を超えたおばあちゃんのところに毎年顔を見せに！

6期生の野澤 圭君が缶コーヒーを差し入れてくれました。週に2、3回は来ます。ここでも仕事してますよ！

6期生の岩渕鉄平君が暑いのでと生徒たちにアイスの差し入れをしてくれました。

6期生の鈴木君が4期生の内藤君の保険に切り替える契約を塾で！内藤君はJAFから昨年転職しました！

★道コンの結果をもとに面談★

長かった夏休みが終わり新学期がスタートしました。昨年に続き暑い日が続いていますが、9月は中学校、高校ともに定期テストがあります。特に中3生は12月の三者面談で受験生にとって志望校を決める（学校では）根拠となる9、10、11月の3回ある1回目の学力Aテストがあります。いよいよ高校入試に向けた勉強がスタートします。

先日、道コンの結果をもとに面談を行い、一人ひとりの課題について話しをしました。日頃の取り組みの成果がはっきり表れるのが学力テストや道コンの結果です。塾の指導通りに学習している人は今回の道コンの結果にも表れていました。

結果が出ていない人は取り組み方に問題があるということですから、そこを改善すれば結果は出せます。取り組み方で一番問題なのは家庭学習不足です。学校や塾でやった勉強の復習をしっかりやっていない事です。

勉強で大事なのは、みんな知っている通りコツコツ積み重ねることです。

しかし今は、学力だけではなくコミュニケーション能力や発想力、行動力などが求められる大変な時代です。普段からいろんなことに興味や関心を持つことが大切です。

今や高校入試は単なる通過点でしかありません。高校を卒業すれば何とかなる時代はとっくの前に終わっています。

私たちはまだ中学生ではダメなんです。みんなの将来はすぐ目の前なのです。目標を持つこと、夢に向かうことが、今、中学生のみんなにとってとても大事なことです。気合と根性！

★大きく変わった入試制度、「自己推薦」も★

高校入試の制度も近年大きく変わっており、実施要領を確認するなどして、しっかり準備しておく必要がある。

道教委は23年度入試から、実施要項を改正した。大きな変更点は3点ある。

1点目は、出願状況公表後、1回だけ出願先の学校を変更できる「出願変更」について。従来は、出願した学科が全日制普通科の場合、出願変更できるのは普通科や理数科などに限られていた。改正後は、当初出願した学科に関係なく、どの学科にも変更できるようになった。

2点目は自己推薦の導入。学校推薦は、所属中学の校長の推薦を得て出願することができるが、自己推薦の導入により、生徒自身が志望校の「入学者の受け入れに関する方針」に合致するかを見極め、自己判断で出願できるようになった。入学者に占める推薦枠の比率も、従来は一律だったが、改正後は、普通科は10～40％、農業、水産学科は50～90％の間で高校ごとに決められるようになった。

3点目は、道外からの入学者の受け入れについて。離島の学校や1学年1学級の地域連携特例校などに限定されていた道外からの生徒の受け入れが、改正後は「2学級以下の学校」などと緩和された。

道教委は「9月下旬に公表予定の実施要項をよく確認した上で受験に臨んでほしい」としている。

北海道新聞24年8月28日

8月も塾生の保護者、卒業生や卒業生の保護者の方たちからたくさんの差し入れを頂き、本当にありがとうございました。

9月の予定

日	曜日	予定
1	日	休塾
2	月	
3	火	◆別保・武修館定期（～4）
4	水	◆景雲・青陵（～5）遠矢（～6）
5	木	
6	金	◆鶴居定期
7	土	
8	日	休塾
9	月	
10	火	
11	水	★学力テスト
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	休塾
16	月	敬老の日 休塾
17	火	
18	水	◆富原定期
19	木	◆美原定期（20）
20	金	
21	土	
22	日	秋分の日 休塾
23	月	振替休日 休塾
24	火	
25	水	◆北中定期
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	休塾
30	月	

過保護・過干渉は子供をダメに！

大きな声であいさつを！

在籍する生徒の所属校
小学校 愛国・芦野・富原
中学校 美原・青陵・景雲・北・武修・富原・遠矢・別保・鶴居
高校 湖陵・江南

文字を書くだけでもメンタル強化に！

10万人以上の筆跡を診断してわかった、文字に表れる心理状態とは？

石崎先生いわく「文字を書くという行為が心に良い影響を与えるのは確かなこと」だそうで――

アフターコロナのなか、閉塞感や経済的不安などのストレスから自律神経が乱れ、さまざまな身体の不調に悩んでいる方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。「文字を書くという行為は瞑想に通じていて、自律神経を整える効果があるのです」と語るのは、筆跡カウンセラーの石崎白龍先生。今回は、石崎先生と自律神経の名医・順天堂大学医学部教授の小林弘幸先生の対談をお届けします。石崎先生いわく「文字を書くという行為が心に良い影響を与えるのは確かなこと」だそうで――。 *******

◆文字を書くことはメンタル強化につながる

石崎（※「崎」は正しくは「たつさき」） 小林先生は自律神経の第一人者としてご活躍ですが、腸のスペシャリストとしても、つとに有名で、私の周囲にも先生が考案なさった「長生き味噌汁」を毎朝飲んでいるという人がたくさんいます。

小林　腸と自律神経は密接な関係にあるので、「長生き味噌汁」も自律神経を整えるための方法の一つとして開発したのです。 それ以外にも、自律神経を整えるための睡眠法や呼吸法、音楽、塗り絵などを推奨してきましたが、今回、監修のお話をいただき、「文字トレという方法もあったか」と思いました。

石崎　ありがとうございます。 小林　自律神経の話以前に、私は文字を書くことが好きというか……。自分でいうのもなんですが、文字には自信があるのです（笑）。

石崎　そうでしたか。

小林　両親が小学校の教員だったこともあって、幼いころから文字を書くことに関して、厳しく育てられました。とくに母はスパルタで、「もっと、ゆっくりと丁寧に書きなさい」と何度もやり直しをさせられ、私は泣きながら書初めを書いたのを覚えています。 でも、そのおかげでメンタルが強化されたように思うのです。ゆっくり書くと緊張感が生まれますが、この緊張感を克服するためには、心の平静を保つ強さが求められます。

石崎　私は文字改善によって成績アップを目指すお子さんの指導にあたっていますが、テストの本番に弱いと悩んでいる子どもの多くが、文字を書く速度が速いのです。逆にメンタルが強く、度胸が据わっている子どもはゆっくりと文字を書くのが特徴です。

小林　ゆっくり書くから心が安定するのか、心が安定しているからゆっくりと書くことができるのか。そこは “鶏と卵” の関係性だという気もしますが、いずれにしても、文字を書くという行為が心に良い影響を与えるのは確かなことだといえるでしょう。

◆筆跡カウンセラーとしての原点

石崎　心と文字は因果関係にあって、文字がブレないと心もブレないといえますが、筆跡カウンセラーとしての私自身の原点には、心がブレると文字がブレるのだという発見がありました。

小林　興味深いですねぇ。 石崎　私は幼いころから書道を習い始め、20代で子どもを対象にした書道教室を始めました。定期的に子どもの文字を見ているうちに、日によって文字が違うことに気づいたのです。 乱れた文字を書くようになった子に「学校で誰かと喧嘩したの？」と聞いたり、筆圧が極端に弱くなった子に「家でお母さんにしかられたのかな？」と声をかけたりすると、子どもたちは一様に、「先生、どうしてわかるの？」と、百発百中でした。

小林　へぇ、すごいものですね。

石崎　これは偶然ではないと考えていた矢先に、かつて書道を教えていただいた恩師であり、筆跡診断の草分け的存在である、森岡恒舟先生と再会する機会がありました。 そのときに森岡先生から、「文字には、その人の性格や心理状態が表れる」というお話を伺い、すとんと腑に落ちました。そのことがきっかけで、筆跡診断士の道を歩むようになったのです。

石崎先生「定期的に子供たちの文字を見ているうちに、日によって文字が違うことに気づいたのです」

◆文字は体を表す

小林　昔から「文字は体を表す」、つまり、その人の性格を表すといいますが、おそらく真実でしょう。私は、試験の添削を通してそのことを実感しています。解答に自信のない学生は筆圧が弱くて心もとない文字を、自信のある学生はしっかりとした文字を書く傾向にあるということを発見したのです。

石崎　先生も筆跡カウンセラーになれそうですね。

小林　いやいや。ただ、人の文字を多く見ることによって培われる勘のようなものがあるのではないかとは思います。石崎先生は20年以上にわたって筆跡カウンセラーをしてこられたということですが、どれくらいの人数の方の文字を見て研究してきたのですか？

石崎　述べ人数ですが、10万人以上になると思います。途中から大人の文字の改善指導もするようになりました。子どもと大人では、同じ文字の癖であっても心理状態が異なるのですが、それは社会性の違いだと分析しています。

◆筆跡診断で着目するのは文字の癖

小林　人が文字を書くことは遺伝子に組み込まれているといわれていますが、あらためて考えてみると神秘的ですね。これは私の個人的な見解ですが、文字の上手い下手は、走るのが速い人と遅い人がいるのと同様に遺伝的な要素が大きいのではないでしょうか。文字の上手い人は幼いころから上手いですよね。

石崎　そうですね。ただし、下手であっても練習することによって、ある程度までは上達すると思います。

小林　私の場合は父が達筆なのです。92歳になるいまも、お寺から卒塔婆の文字を書いてほしいと依頼を受けてやっているほどで。プラス、母の英才教育もありました。あれだけ口うるさく「ゆっくりと丁寧に！」と言われたら、否が応でも集中します。集中しないとバランスのいい文字が書けないのだということを学びました。

石崎　文字はバランスが命ですから。

小林　その一方で、文字は魂を込めて書くことが大切なのかなという気もするのです。思いを込めて書けば、汚い文字でも立派に見えるというか……。筆跡診断においては、文字が綺麗かどうかは関係ないのではありませんか？

石崎　そうなのです。筆跡を診るうえで着目するのは、先ほど先生がおっしゃっていたように、筆圧、それからハネるべきところをハネているか、閉じるべきところを閉じているかといった、その人の文字の癖です。

小林　無意識に書いている文字に心理模様が表れるとしたら、ちょっと怖いような気もしますが、自分を見つめ直すきっかけになるという意味で有意義なことですね。 ※本稿は、『気がつくと自律神経が整う！メンタルアップ文字トレ』（徳間書店）の一部を再編集したものです。

Yahoo New 2023.06.14

下の文章は卒業生のお母さんが卒業時に書いてくれたものです。

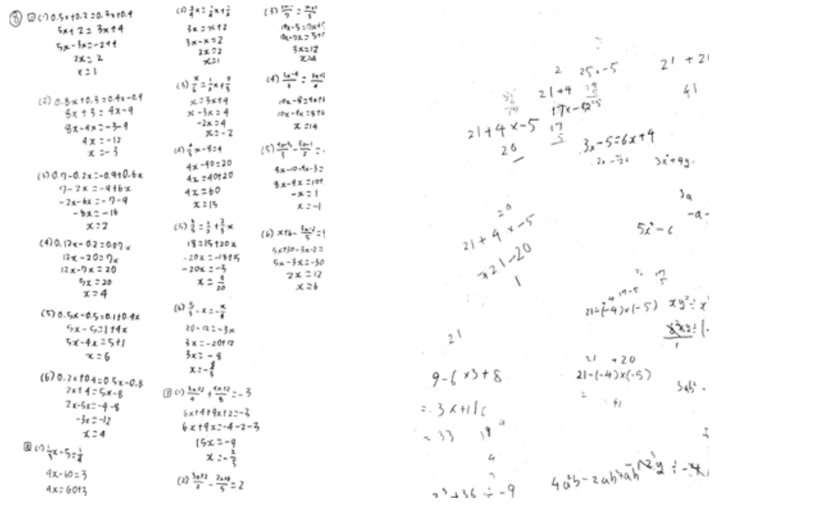
部活の時間との兼ね合いもあり、中２の途中からステップゼミナールにお世話になりました。

ちまちまと小さな字を書くようになってしまった息子に塾長と大本先生は「大きな字を書く」事から教えて下さいました。「塾で？」という人も正直おりましたが、「名は体を表す」以上に「字は体を現す」。

あの頃の息子には何よりの指導でした。また、部活も熱心に応援してくださり、生活面でも大きな塾にはできないようなフォローもして頂きました。塾長と大本先生には、学力だけではなく生きていく力を与えて頂いたように思います。

お陰様で志望校に合格し、３月１６日、入塾時とは比べものにならない大きな字で入学手続きを済ませてまいりました。ありがとうございました。

この卒業生が、高専の機械工学部から世界でもトップ10に入る総合バルブ株式会社キッツに就職し、６月にタイの工場に27歳で管理職として赴任した21期生の田村蒼一郎です。



計算問題の計算過程の良い例と悪い例です。どちらが成績が良いのか一目瞭然です